OPEN ワークショップ Ansible 基礎編 はじめの資料

レッドハット株式会社 パートナーソリューションアーキテクト部

最終更新日:2022年 3月



スライドのリンク

本日利用するスライドやハンズオンコンテンツへのリンクです。

本資料と座学資料

https://github.com/RH-OPEN/AAP2.1-TechSales

ハンズオンコンテンツ

https://aap2.demoredhat.com/exercises/ansible_rhel/README.ja.html

注意事項

- ・このウェビナーではチャットを多用します。アクセス先のURLなどは チャットに貼り付ける事も多くありますので、チャットを確認できる 様にしておいてください。
- ・ご質問はチャットで頂くことも可能です。その際は "全員" 宛にご質問ください。
- ・オンラインですので、中々皆様の進捗が分かりません。オペレーショ ンについていけない場合は遠慮なくご連絡ください。

質問に関して

遠慮なくどんどんご質問ください

不明点は音声もしくはチャットでご質問ください

チャットで質問いただく際は "全員" 宛でお願いします

Experience



Senior Solution Architect

Red Hat

2016年9月 - 現在・(4年3ヶ月)

Ebisu Tokyo Japan

Solution Architect for Partners



Lead Systems Engineer

VMware

2008年7月 - 2016年8月・(8年2ヶ月)

Tokyo

2014.7 : Promoted to Lead Systems Engineer

Lead internal SE team

- Collect the new (not published) technologies in the internal site
- Pick up the remarkable technology



Global Solution Team

AMD

2006年8月 - 2008年6月・(1年11ヶ月)

Tokyo

AMD Manager (Solution Engineer) 8/06 - 6/08
AMD Japan Ltd., Manager, duties and responsibilities include:

Working with products such as CPU/ GPU/ High performance computing



Advanced Systems Group

Del

2001年5月 - 2006年7月・(5年3ヶ月)

日本 東京都 23 区内

Pre-Sales Consultant (4Years) and SE Manager (one year).

Dell Senior System Consultant 5/01-7/06

Dell Japan Ltd., Senior System Consultant, duties and responsibilities included



Research And Development Engineer

TOTO・正社員・職員 1994年4月 - 2001年4月・(7年1ヶ月) 神奈川県茅ケ崎市

自己紹介

岡野 浩史

仕事:パートナーSA

SI 担当 Ansible 大好き

趣味:星を見る事・見せる事

星のソムリエ®の資格所有 (^^)

ボランティアで天体観望会実施

その他、山登り、ジョギングも

毎朝 10km → 15km 走ってます。





プライベートのブログ(星のみ) http://coral-hiro.asablo.jp/blog/





自己紹介 中村雅史(なかむら まさのり)



仕事:パートナーSA

前職で永らくストレージ製品担当してました

出身:大阪府八尾市(特産品は<u>枝豆、若ごぼう</u>)

趣味:スキー、野球(子供の手伝い、グローブのリレース)

好きなもの:温泉 目標:1日1万歩





自己紹介

- お名前
- 普段やっている事
- このトレーニングに期待する事

会社名は不要です 可能であれば、カメラオンでお願いします!! (_._)

本日のスケジュール

13:00-13:30 はじめに

13:30-14:20 Ansible 座学トレーニング

14:20-14:30 セルフアセスメント

14:30-14:40 休憩

14:40-16:15 ハンズオン - Ansible コマンドライン演習

16:15-16:30 アンケート・まとめ

Red Hat Partner Training Portal



Red Hat Partner Training Portalとは?

Role(役割)ごとの育成ロードマップを提供

Red Hat Partner Training Portal は、Red Hat のパートナーの方向けの無償トレーニングの仕組みで、e-learning とオンラインのラボで構成されています。営業向け、セールスエンジニア向け、デリバリースペシャリスト向けのコースが提供されており、一部コースには日本語版も提供されています。



Red Hatの価値を理解 案件の精査 対競合優位性の理解 反論への対処 価格



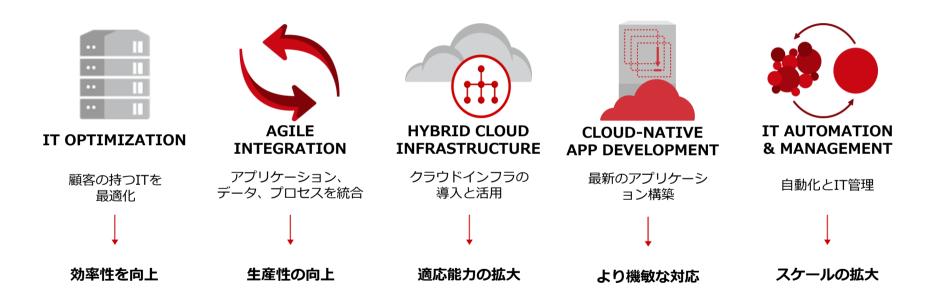
技術的営業提案 案件の精査 対競合優位性の理解 反論への対処 デモの習得 製品の使い方に関するハンズオン



製品導入 アプリケーション開発 PoCの実施 ソリューションアーキテクチャー インプリメンテーション含めたハンズオン

提供プログラムの種類

5つのIT課題に対応した幅広いプログラムを作成しています



Red Hat Partner Praining Portal で学べる製品群

⇒ドルウェ. 運用基盤

API管理

(3scale API management Platform)

ルール & BPM

(Desicion Manager / Process Automation)

インテグレーション (A-MQ/Fuse)

分散インメモリ (Data Gird) アプリケーション フレームワーク

Tomcat

(JBoss Web server)

JavaEE

(JBoss EAP)

WildFly Swarm Spring Boot Vert.X

(OpenShift Application Runtimes)

Red Hat Build of OpenJDK for Server

Red Hat Build of OpenJDK for Workstation

分散コンテナ管理

(Red Hat Quay)

運用監視・自動化

ハイブリッド環境 統合監視 (Cloud Forms)

IT自動化 (Ansible Tower)

インフラ管理 (Satellite)

脆弱性チェック (Insgiht)

コンテナアプリケーションの 開発と運用のオートメーション 環境 (OpenShift)

ソフトウェアストレージ (Red Hat Storage / OpenShift Container Storage) オペレーティングシステム (Red Hat Enterprise Linux)

クラウドオペレーティングシステム

(Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform)

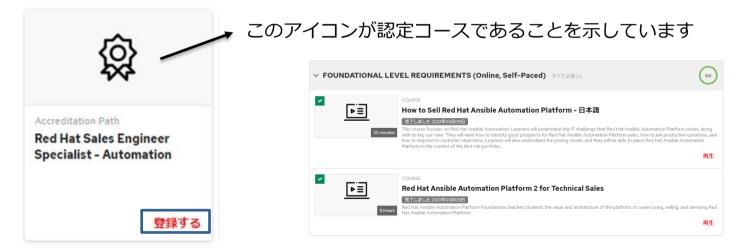
ハイブリッドクラウ 運用基盤

7.

認定について

Partner Training Portal には単一のコースと複数のコースが Suite で提供される認定取得コースがあります。今回の『 Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation 』は認定コースとなっており、以下二つを終了すると認定取得となります。

- How to Sell Red Hat Ansible Platform
- ・Red Hat Ansible Automation Platform 2 Technical Sale (本日実施)



認定について - こんなものが届きます(pdf)



Red Hat Accredited Professional

The Red Hat Partner Training Portal offers defining curricula on selling and delivering solutions. The owner of this diploma has demonstrated comprehensive, applied knowledge and a deep understanding of Red Hat products and solutions.

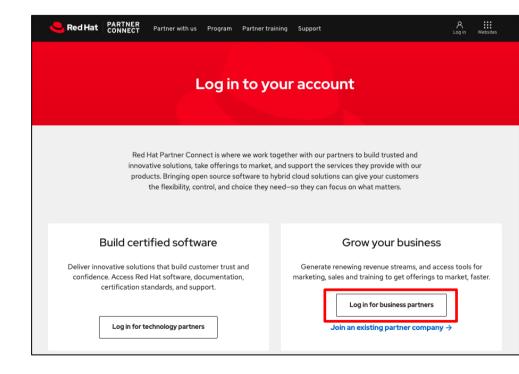
Name Hiroshi Okano	
Accreditation Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation	
Date 30-09-22	
*Valid for 2 years from completion date	

Workshop の進め方



レッドハットパートナーコネクトへ、「Log in for business partners」をクリックしてログインして下さい。

Partner Connect URL: https://connect.redhat.com/login



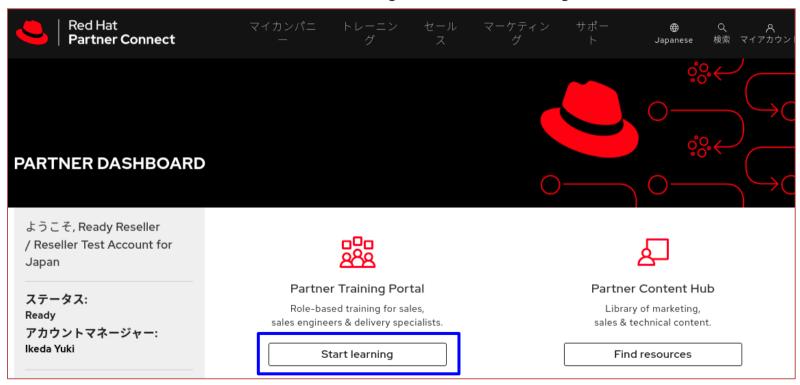
「Red Hat ログインまたはメールアドレス」を入力し、 「**次へ**] をクリックしてください。



パスワードを入力し、[$\mathbf{LOG\ IN}$] をクリックしてください。

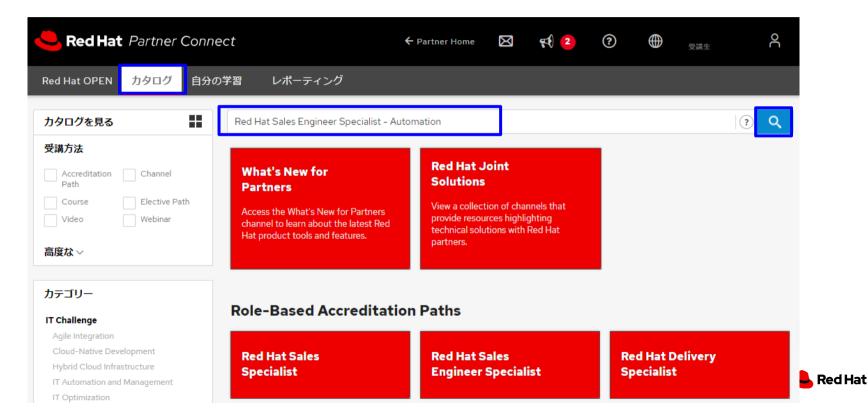


パートナーコネクトへログイン後の、 Partner Training Portal 『Start learning』をクリックして下さい。

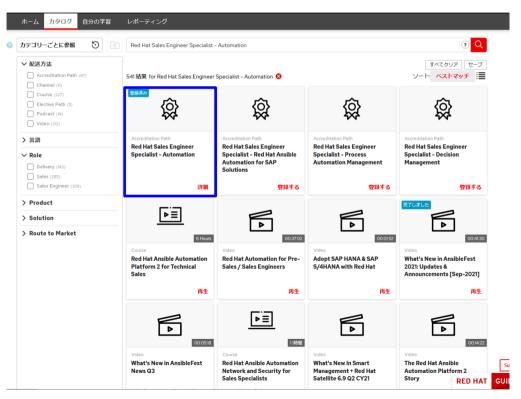


Workshop の進め方 - コースの検索

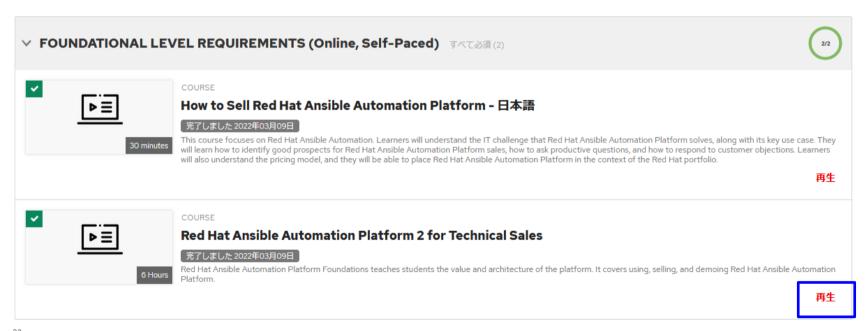
「カタログ」をクリックし、「Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation」を入力し、検索アイコンをクリックします。



表示される一覧から 『 Red Hat Sales Engineer Specialist - Automation 』 を見つけて『詳細 or 再生 (or 登録) 』をクリックします。

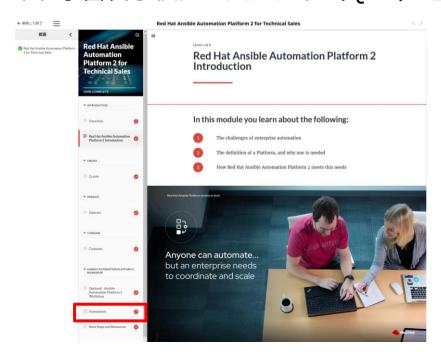


『Red Hat Ansible Automation Platform 2 for Technical Sales 』を再生します。





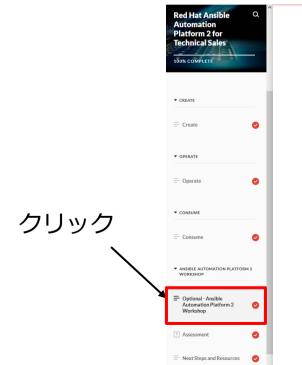
コース画面が開いたかと思います。こちらのコースでスライドと音声を使って学ぶ事が出来ます。本日はこの内容と同様の物を日本語のスライドとハンズオンを使って学びます。スライド学習終了後アセスメント(Quiz)を実施いただきます。

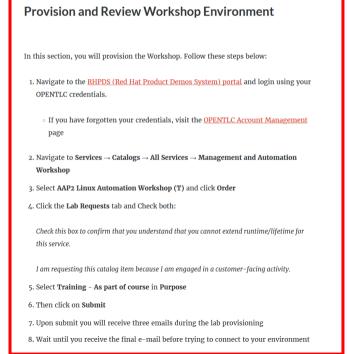




Workshop - LAB のデプロイ

LABのデプロイに1時間ほどかかります。効率よく進めるため、後に使う LAB のデプロイをまず行います。『Optional-Ansible Automation...』をクリックの上、Provison and Review Workshop Environment を実施ください。





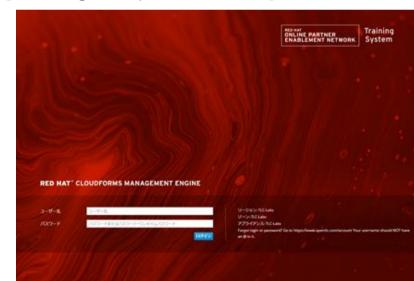




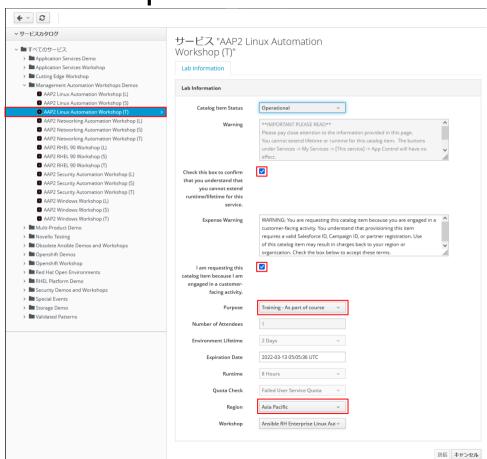
Workshop - LAB のデプロイ - 手順

- 1. あらかじめ作成したアカウントで <u>RHPDS</u> にログインします ID/パスワードを忘れた場合は、<u>OPENTLCアカウント管理</u>ページでリセットください
- 2. [サービス]→[カタログ]→[すべてのサービス]→[Management Automation Workshop]に移動
- 3. AAP2 Linux Automation Workshop(T)を選択し、[オーダー]をクリックします
- 4. 2箇所のチェックボックスにチェックし Purpose で、[Training As part of course] を選択
- 5. Region は [Asia Pacific] を選択
- 6. 右下の [送信] をクリックします。

ラボのプロビジョニング中に3通のメールが届きます。 3通目(1時間ほどかかります)にLABへの接続情報が 記載されていますのでご確認ください。



Workshop - LAB のデプロイ - 手順



こんな感じです。

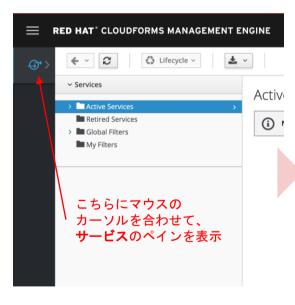
- AAP 2 Linux Automation Workshop(T)
- ・2箇所チェック
- Training As part of course
- Asia Pacific

で送信です!

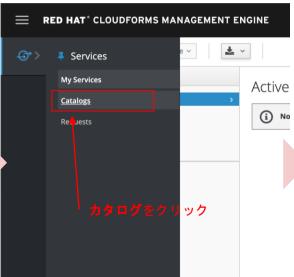


Tips - LAB のデプロイ

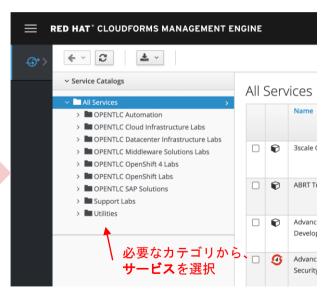
1. サービス



2. カタログ



3. すべてのサービス





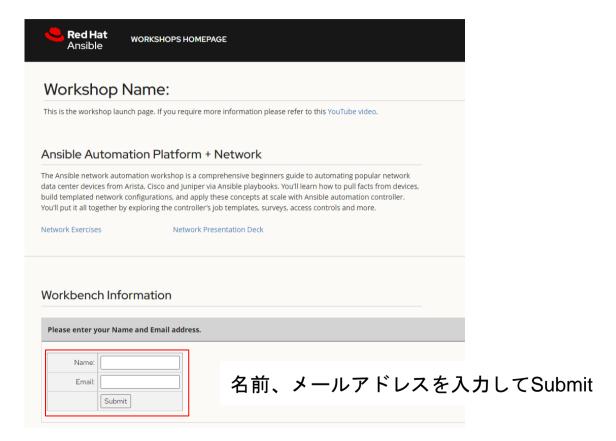
アクセス情報の記載されたメールを確認(約1時間後)

以下の様なメールが届くこと及びアクセス方法を確認

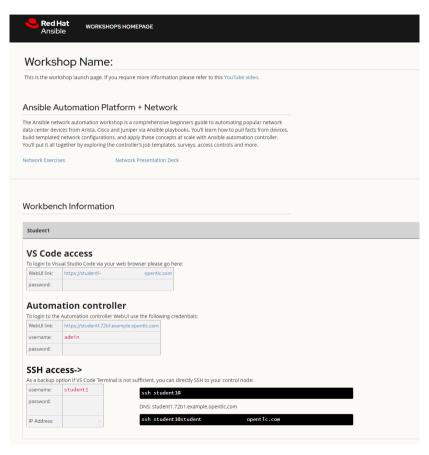


※メールが届かない方はジャンクメールホルダーなどご確認ください。

アクセス情報の取得



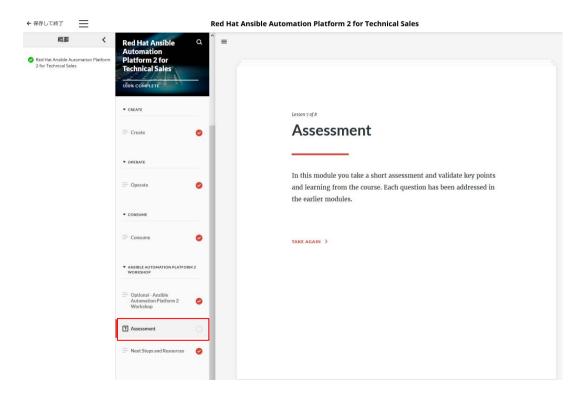
アクセス情報の取得



アクセス先のURL、ID、パスワードを確 認しアクセスしてみましょう!

Assessment 実施

14:20-14:30 各自 Assessment 実施



休憩中

14:30-14:40 休憩



Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise

open source software solutions. Award-winning

support, training, and consulting services make

Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

